

SDG s に対する不二製油グループの取り組み

～社会との対話に基づいた学びと実践～

2019年10月11日

**不二製油グループ本社株式会社
ESG経営グループ CSRチーム
山田瑤**

1. 不二製油のご紹介
2. SDG s に対する認識とESG経営の考え方
3. ESG経営・重点テーマ
4. 社会との対話

■ 不二製油グループのご紹介（1）

- ・1950年創業の食品素材メーカー（B to B）
- ・主原料：パーム、カカオ、大豆
- ・主要顧客：食品メーカー、飲料メーカー、製菓メーカー、レストラン等
- ・2018年度 販売高：3008億円、従業員：5963名

2018年度販売高比率

植物性油脂

36%



＜商品＞

フライ用油脂、チョコレート用油脂

＜使用品＞

チョコレート、スナック、即席麺、
アイス、飲料

業務用チョコレート

23%



＜商品＞

業務用チョコレート

＜使用品＞

チョコを使用した商品全般
(チョコ菓子、パン、アイス)

乳化・発酵素材

29%



＜商品＞

クリーム、マーガリン、フィリング

＜使用品＞

洋菓子全般、パン、惣菜

大豆加工素材

12%



＜商品＞

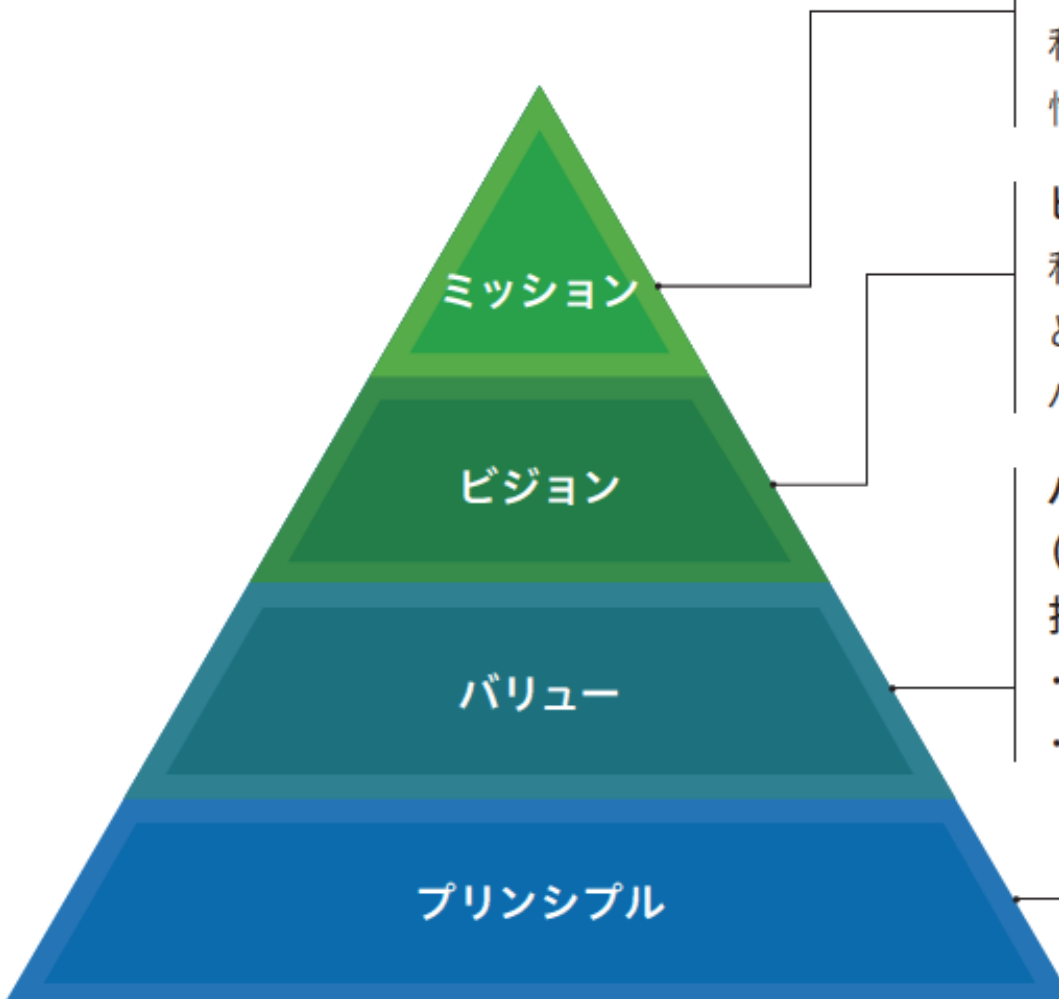
大豆たん白（粉末・粒）、
冷凍豆腐、油揚げ、ペプチド

＜使用品＞

惣菜、健康栄養食品、
乳飲料

■ 不二製油グループのご紹介（２）

不二製油グループ憲法



ミッション

(私たちの使命・私たちの存在理由):
私たち不二製油グループは、食の素材の可能性を追求し、食の喜びと健康に貢献します。

ビジョン(私たちの目指す姿):

私たちは、油脂と大豆事業を中核に、おいしさ
と健康で社会に貢献する、食の未来創造カン
パニーを目指します。

バリュー

(私たちが行動する上で
持つべき価値観):

- ・安全と品質、環境
- ・挑戦と革新
- ・人のために働く
- ・スピードとタイミング

プリンシプル

プリンシプル(私たちの行動原則)

■ 不二製油グループのご紹介（3）

≡不二製油は社会の中の一員、
CSRを果たすことは経営そのもの〃

清水 そうですね、当社も
CSRを「企業経営そのもの」
と位置付けています。
例えば大豆たん白事業は、
今ふうによえば
「社会のサステナビリティを実現する事業が、
当社のサステナビリティを高める」
という考え方で始めたものです。



（サステナビリティレポート2013 対談「不二製油グループのCSR」より抜粋）

1. 不二製油のご紹介
- 2. SDG s に対する認識とESG経営の考え方**
3. ESG経営・重点テーマ
4. 社会との対話

■ SDG s に対する認識

＜学んだこと＞

2015年10月有識者より

「SDG s は社会課題の縮図。

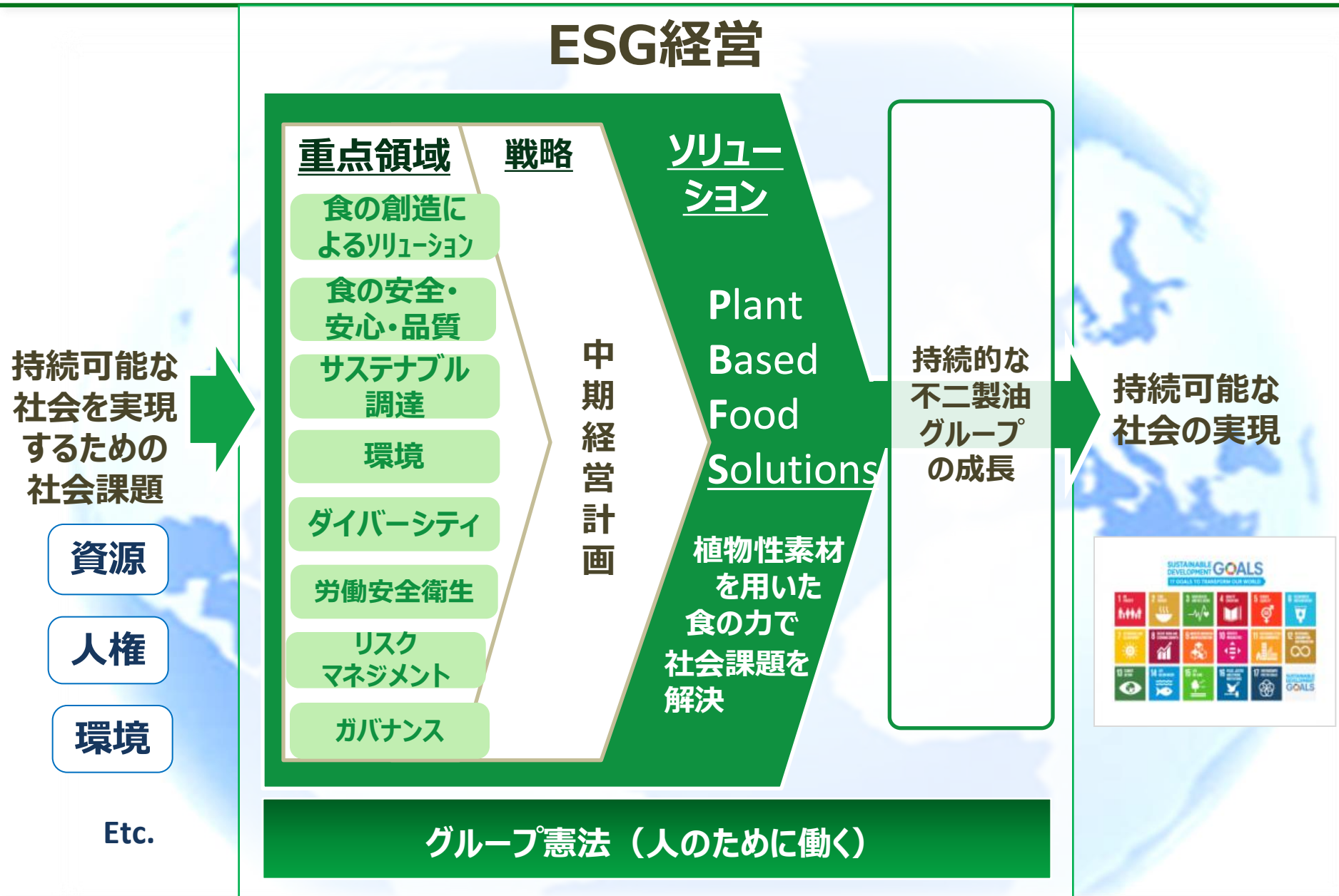
SDG s を大風呂敷として社会課題を見ると良い。」

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



■不二製油のESG経営



1. 不二製油のご紹介
2. SDG s に対する認識とESG経営の考え方
- 3. ESG経営・重点テーマ**
4. 社会との対話

■ ESG経営・重点テーマ（マテリアリティ）

<ESG経営・重点テーマとは>

ESG経営を実践するために不二製油グループが特に取り組むべきテーマ



ESG経営・
重点テーマ

事業を通して
特に貢献すべき
テーマを特定

<学んだこと>

「なぜそのテーマなのか？（特定プロセス）」を開示すべき

■ ESG経営・重点テーマの策定プロセス

2018年度以降、以下のプロセスでテーマを特定

1 国際ガイドライン等を基に社会課題をリストアップ

2 マテリアリティマップを使って社会課題の重要度を評価

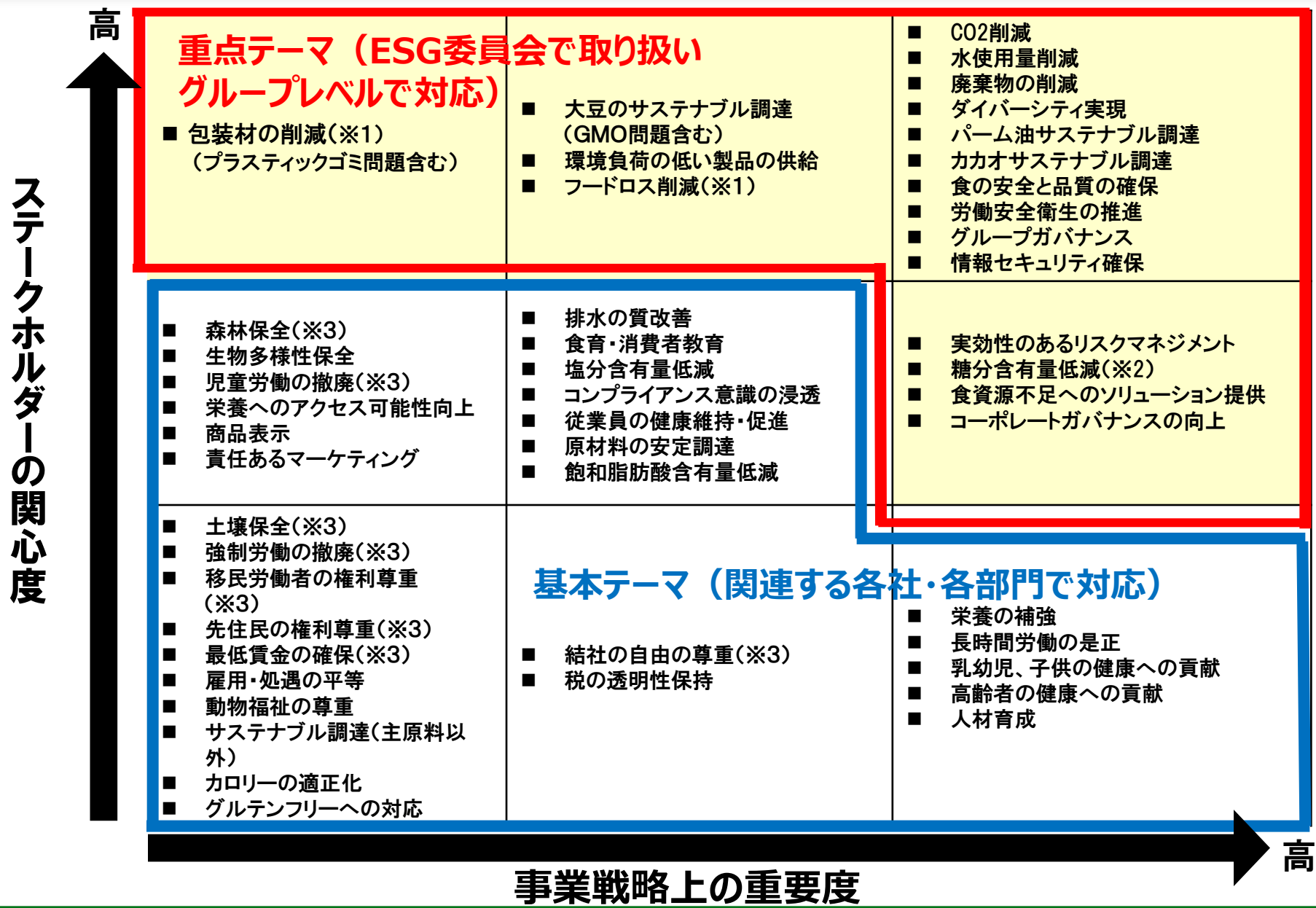
3 ESG委員会で評価結果を検討・纏め上げ

4 取締役会で承認

社会の
期待を
基に
策定

テーマ毎に推進リーダーを選定し、各社・各部門で推進・
進捗をESG委員会（取締役会の諮問機関）でレビュー

■マテリアリティマップ[※]を使って社会課題の重要度を評価（19年度版）



※1: 既に取り組み中も、2019年度を調査・検証年と位置付け、重点テーマではなく基本テーマとして推進します。 ※2: 課題の把握と対応について現在検討中です。
※3: サプライチェーン上の社会課題については、「サステナブル調達(パーム油/カカオ/大豆/主原料以外)」に包含されます。

12

■ 2019年度重点テーマ

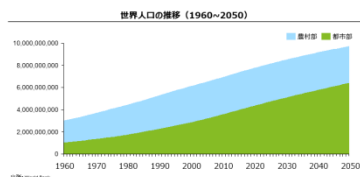
カテゴリー	重点領域	ESG経営・重点テーマ	特に貢献を目指すSDG s
製品を通じて 解決に貢献する 社会課題	食の創造による ソリューション	食資源不足へのソリューション提供	2 飢餓をゼロに 6 安全な水とトイレ を世界中に 12 つくる責任 つかう責任
		環境負荷の低い製品の供給	
事業プロセスを 通じて解決に 貢献する 社会課題	食の安全・ 安心・品質	食の安全と品質の確保	12 つくる責任 つかう責任
	サステナブル 調達	パーム油のサステナブル調達	12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に 具体的な対策を 15 陸の豊かさも 守ろう
		カカオのサステナブル調達	
		大豆のサステナブル調達 (GMO問題含む)	4 質の高い教育を みんなに 8 働きがいも 経済成長も
	環境	CO2の排出削減	6 安全な水とトイレ を世界中に 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に 具体的な対策を
		水使用量の削減	
		廃棄物の削減	
	ダイバーシティ	ダイバーシティの実現	5 ジェンダー平等を 実現しよう 8 働きがいも 経済成長も 10 人や国の不平等 をなくそう 12 つくる責任 つかう責任
	労働安全衛生	労働安全衛生の推進	
	ガバナンス	グループガバナンス	12 つくる責任 つかう責任
		コーポレートガバナンスの向上	
	リスク マネジメント	情報セキュリティマネジメント	12 つくる責任 つかう責任
		実効性のあるリスクマネジメント	

■ 食資源不足へのソリューション提供

社会課題への国際的危機感

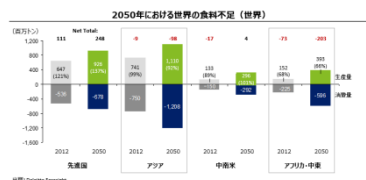
人口増加

2050年には
世界人口は
98億人に拡大



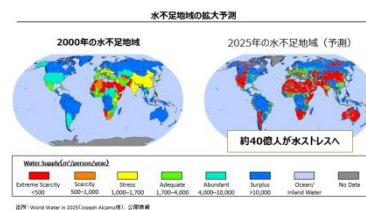
食糧危機

アフリカとアジアで
特に食糧が不足する
予測



水不足

2025年、約40億人
が水ストレスを抱え
ることが危惧されて
いる



地球温暖化

温室効果ガス
排出量増加に伴い
温暖化が加速



持続可能な食システムへの転換が求められている

⇒ **Plant-Based Foods**の可能性に着目